

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	国際交流事業	コード	121101
-------	--------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 企画課	作成者 宮坂 征憲
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	国際理解の醸成	施策	多文化共生の推進
		予算科目	国際交流事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	語学指導や各種講座を行うほか、保育園・小中学校等での国際理解のための指導、教育などを通じて、歴史や文化の違いを認め合い、考え方の違いを理解して歩み寄ることの大切さを学ぶ。			
目的	対象者	市民		
	意図	市民の国際理解を醸成する。		

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
1. 国際理解推進事業				
①国際交流センター補助金				
②国際交流員設置事業				
国際交流センターに国際交流員1名を設置し、国際化施策立案や英会話講座等の講師を務める。				
・国際化業務・・・国際交流事業の企画立案				
・在住外国人対応・・・市民交流の実施、情報提供及び指導				
・市内保育園、小中学校への対応・・・国際理解のための指導、教育				
2. マウント・プレザント市交流事業				
海外姉妹都（マウント・プレザント市）との交流事業				
・高校生生活体験事業・・・7月29日～8月9日（12日間） 高校生6名・引率者1名を派遣				
前年度の課題への対応	委託事業と自主事業の明確化を図るとともに、国際交流センターが効率的かつ効果的な事業展開を行うことができるよう、同センターに対する補助金や委託料のあり方について見直しを行った。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	国際理解のための指導、教育を行った箇所数			単位	箇所
実績値	55	35	42		
*指標の説明	国際理解のための指導、教育を行った保育園と学校の数及び市民対象の講座実施箇所数				
② 成果指標（指標名）	国際理解のための指導、教育事業参加者数			単位	人
目標値	2,630	2,170	1,412	1,863	
実績値	2,073	1,345	1,775		
達成度	78.8%	62.0%	125.7%		
*指標の説明	国際理解のための指導、教育事業に参加した園児や児童生徒数及び市民対象の講座参加者数				
*目標値の設定方法の説明	前年度実績数の5%加算				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	17,109,317	12,340,646	13,091,721	15,016,000
経常経費	13,716,317	12,340,646	13,091,721	15,016,000
臨時的経費	3,393,000	0	0	0
* 臨時的経費の説明	姉妹都市締結50周年記念事業（マ市訪問団来岡）			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数（人）	0.40	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト（①+②）	20,309,317	15,540,646	16,291,721	18,216,000
前年度比		76.5%	104.8%	111.8%
財源				
一般財源	19,209,317	15,540,646	16,291,721	18,216,000
内訳				
特定財源	1,100,000	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	307,569	444,018	387,898	
前年度比		144.4%	87.4%	
⑤ コストに関する補足説明	（経常経費+人件費）/実績値（活動指標）			

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
長野県日中友好協会 負担金	件数	1	1	1	1
	金額	10,000	10,000	10,000	10,000
おかや文化振興事業 団	件数	1	1	1	0
	金額	7,600,000	7,000,000	7,000,000	0
国際交流センター補助金	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	7,610,000	7,010,000	7,010,000	10,000
	割合	44.48%	56.80%	53.55%	0.07%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標（項目7/住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	132.0%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	125.7%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より「国際交流推進事業業」として委託事業への一本化を図ったことに伴う、委託業務に関わる成果の評価 ・国際交流センターにおける、自主財源の確保 ・前例にとられない効率的かつ効果的な事業の実施
改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流センターの自主性を尊重しつつ、委託業務の目的達成に向けた新規事業について、協議・検討を行う。
改善開始時期	平成30年4月～

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---